

4. 親子のコミュニケーション編①<子どものいいところ>

② うちの子、お手伝いできるモン

<<ねらい>>

○お手伝いは、子どもの自主性や自尊感情を育てる。そこで、お手伝いの様子を情報交換しながら、子どもが進んでお手伝いできる方法について考える。

<<準備物>>

- ファシリテータ：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい 今日は、家庭でのお手伝いや子どもさんの様子を話しながら、本当はさせたいお手伝いや、進んで楽しくお手伝いさせる工夫について考えてみましょう。その前に、心と体をリラックスさせましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P. 6参照	
展開 (35)	10	4. ワークシートに記入する。 ・最近のお手伝い (ワーク1)	4. 最近してくれるようになったお手伝いを ワーク1 に記入しましょう。	
	15	5. グループで話し合う。 ・手伝ってもらいたいお手伝いベスト3 (ワーク2) ・進んでお手伝いしてもらうための工夫 (ワーク3)	5. 各家庭のお手伝いについて紹介し合ひましょう。 ・その後、子どもに手伝ってもらいたいお手伝いベスト3をグループで話し合い ワーク2 に記入しましょう。 ・子どもに進んでお手伝いしてもらうための工夫について話し合い ワーク3 に記入しましょう。	
	10	6. グループごとに発表する。	6. どんなお手伝いがベスト3になりましたか。その理由と進んでお手伝いしてもらうための工夫を発表しましょう。	・抽出グループでも可。 ・1位のみ理由を発表する。
まとめ (15)	5	7. ふりかえり	7. このワークをふりかえて感じたこと、気づいたことをワークシートにまとめましょう。	
	10	8. まとめ 今日は、各ご家庭のお手伝いについて、意見交換していただきました。お手伝いできることが増えると、子どもの成長を感じますね。感謝の言葉を伝えることによって、子どもは「誰かの役に立てる」と感じます。これは、子どもの成長にとっても大切なことです。「またやってみよう」と思えるような工夫をして、お手伝いを増やしていきましょう。		

② うちの子、お手伝いできるモン

みなさんは、家事に育児に多忙な毎日を送っていると思います。そんな中、子どもがお手伝いをしてくれるとうれしいですよ。

今日はひとまず「親ばか」に徹して、最近してくれるようになった我が子のお手伝いをみんなに自慢しながら、子どもの成長を確認しつつ、その様子を話してみましよう。



ワーク1 最近してくれるようになったお手伝いを書いてみましょう。

お手伝いの内容や子どもの様子	きっかけ	かけたほめ言葉

ワーク2 子どもに手伝ってもらいたいお手伝いベスト3！

1位

理由

2位

理由

3位

理由

ワーク3 進んでお手伝いしてもらおうための工夫

ふりかえり

